

サッカースタジアム等整備の取組状況等について

1 令和2年度の取組

(1) サッカースタジアム等整備 (DB 事業)

- 9月議会において、事業費に係る債務負担行為の設定に関する補正予算可決
- 10月22日 事業者の公募を開始
- 12月1日 参加事業者との競争的対話を実施  
⇒ 「4者が期待する整備の方向性(素案)」を示し、提案書作成に当たって本資料の内容に配慮すること、市外、県外からどの程度の集客を見込めるかを提案内容に盛り込むことを指示
- 2月15・16日 参加事業者からの提案書を受付
- 3月30日 事業者選定審議会を開催し、優先交渉権者を選定

(2) 広場エリア整備 (P-PFI 事業)

- 事業者の公募の資料となる公募設置等指針の素案を作成  
※ 公募設置等指針(素案)の概要は別紙のとおり
- 3月31日 事業者選定審議会を開催し、公募設置等指針等を審議・決定

2 令和3年度以降の取組

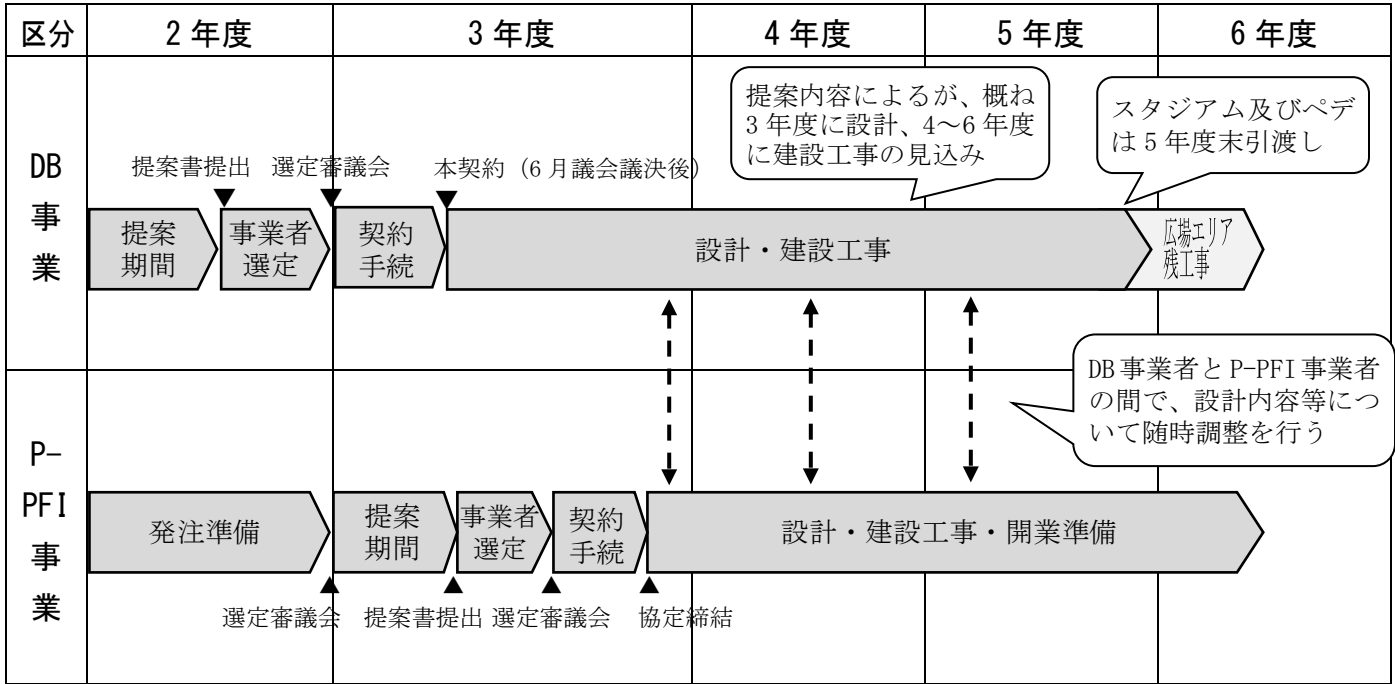
(1) サッカースタジアム等整備 (DB 事業)

- 令和3年4月 優先交渉権者と仮契約を締結
- 同年6月 6月議会に契約締結議案を提案  
⇒ 契約締結議案の可決後、本契約の締結
- 同年7月～ 基本・実施設計等
- 令和4年度～6年度 建設工事、開業

(2) 広場エリア整備 (P-PFI 事業)

- 令和3年度 事業者選定、実施協定締結
- 令和4年度～6年度 設計、建設工事、開業

3 全体スケジュール



4 全体事業費及び財源内訳

- 本事業の全体事業費は、サッカースタジアム等整備、広場エリア整備、埋蔵文化財発掘調査等の事業費の総計として、270億9,900万円と見込んでいる。
- この事業費に係る財源については、基本計画に示している資金調達の考え方にに基づき、全体事業費から、国庫補助金、寄附金、使用料収入等を償還財源とする市債等の見込額を差し引き、なお不足する部分については広島市及び広島県が協力して資金確保を図ることとしている。

事業費	全体事業費 270.99 億円				
	サッカースタジアム等整備 (DB) 257 億 400 万円 広場エリア整備 (P-PFI) 3 億円 埋蔵文化財発掘調査 8 億 3,100 万円 コンストラクション・マネジメント業務等 2 億 6,400 万円				
財源内訳	国庫補助金	寄附金	使用料収入等	民間資金	自治体負担分
	80.15 億円	63 億円	27.1 億円	0.3 億円	100.44 億円

エディオン 30 億円  
 マツダ 20 億円  
 地元経済界 10 億円  
 個人 3 億円